

第6回日韓共同学術会議報告

齋藤純一（早稲田大学）

「日本と韓国における憲法と民主主義——理論・歴史・展望」をテーマとした第6回日韓共同学術会議は、2007年6月29日、30日に早稲田大学小野講堂で開かれた。日本政治思想学会、韓国政治思想学会および早稲田大学大学院政治学研究科が主催し、日韓文化交流基金の後援を得た。ご多忙のなか、報告者、討論者、司会、翻訳者などとして積極的に関与して下さった会員諸氏にこの場をかりてあらためて御礼を申し上げる。とくに、この会議の企画・運営全般にご尽力くださった梅森直之会員（早稲田大学）に心より感謝申し上げます。

会議のプログラムは下記のとおりである。

第1セッション「立憲主義と民主主義」

[報告]

徐圭煥（仁荷大学政治外交学科教授）「民主主義的制度としての憲法裁判所？——憲政と民主主義に関する政治理論的論考」

阪口正二郎（一橋大学大学院法学研究科教授）「立憲主義と民主主義の対立——違憲審査制を中心に」

[討論]

川岸令和（早稲田大学政治経済学術院教授）

姜正仁（韓国政治思想学会会長：西江大学政治外交学科教授）

[司会]

齋藤純一（早稲田大学政治経済学術院教授）

第2セッション「憲法制定の政治」

[報告]

徐希慶（延世大学国家管理研究院教授）「韓国と北朝鮮の憲法制定に関する比較研究（1947－1948）——真の民主主義の二つの道」

川岸令和「日本国憲法の制定：再考」

[討論]

宇野重規（東京大学社会科学研究所教授）

李三星（翰林大学校政治行政学科教授）

[司会]

佐藤正志（早稲田大学政治経済学術院教授）

第3セッション「法と政治文化」

[報告]

郭峻赫（慶北大学政治外交学科助教授）「共和主義的憲政主義とアジア的価値」

金井隆典（日本大学法学部非常勤講師）「明治初期日本の「政体」の模索に見る“伝統”と“近代”の交錯——近代の義民伝承を手がかりに」

[討論]

大久保健晴（明治大学政治経済学部講師）

姜相圭（ソウル大学国際問題研究所専任研究員）

[司会]

飯田泰三（法政大学法学部教授）

第4セッション「憲法改正と民主主義」

[報告]

文智暎（西江大学社会科学研究所専任研究員）

「韓国の民主化過程における「憲法」問題——民主主義を拘束する法治？」

杉田敦（法政大学法学部教授）「私たちにとって憲法とは何か」

[討論]

苅部直（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

郭峻赫

[司会]

齋藤純一

第5セッション「憲法と市民」

[報告]

金南局（ソウル大学政治学科教授）「多文化時代における韓国の憲法と市民——共和主義的アプローチの限界」

千葉眞（政治思想学会代表理事：国際基督教大学教授）「立憲主義と平和主義について——立憲主義発展史の視座から」

[討論]

李鎔哲（早稲田大学政治経済学術院客員研究員）

齋藤純一

[司会]

梅森直之（早稲田大学政治経済学術院教授）

日韓共同学術会議は、回を重ねるにつれて、学術交流というよりも、日韓の研究者が重要な課題として受けとめているテーマをめぐる共同の討議という性格を強めてきている。今回の「憲法と民主主義」についても、日韓参加者の間で、立憲主義と民主主義との関係や共和主義についての理解など、議論の基本的前提はほぼ共有されており、それを踏まえた水準の高い議論が交わされた。とくに印象に残ったのは、韓国において共和主義が論壇で広く用いられる政治的言語となっていること、共和主義的な政治参加を強調する議論と立憲主義にもとづいて民主的な意思形成・意思決定に対する制約の必要を説く議論との間で緊張感のある論争が交わされていること、そして当然のことながら憲法の意義が反独裁という歴史的コンテクストのもとで論じられていることである。

今回は、日本国憲法がアジアの社会においてもつ意味については議論を深めることはできなかったが、それでも、憲法と民主主義を一国の内部で論じることの限界については認識が共有され、それぞれの歴史的コンテクストを相互に付き合わせる仕方で共通の議論を形成していくことの必要性があらためて確認された。このことは、憲法をたんなる一国の最高規範を記したテキストとして見るのではなく、普遍主義的な内容をもつ憲法原理をめぐる解釈実践＝慣行の積み重ねとしてとらえ返すパースペクティブが必要であることを示唆し

ているように思える。

会議の運営に関する反省点としては、広報が不十分であったため多くの参加者を得ることができなかったということが挙げられる。会議の内容としては充実していただけにそのことが惜しまれる。会員諸氏には、これからの日韓共同学術会議の活動にぜひ関心をもってくださいようお願いしたい。また、会議を円滑に進めるためには同時通訳が不可欠であり、そのコストを学会が負担することにご理解をいただければ幸いである。

第7回の日韓学術共同会議は、近世・近代における日韓の政治思想史をテーマとして2008年5月中旬にソウルで開催される予定である。